

グループ名	ユニット名等	科目名	担当教員名	対象学年次	学期
I T	2単位 ITエンジニア	情報システム論	竹村 憲郎	2年次	春

授業のキーワード	情報 システム、情報システム、企業システム、情報システムの進展、情報社会
授業の概要・目的及び修得させる知識・技能	コンピュータの誕生から70年、その実用化から60年が経過しているが、この間における情報システムの発展は止まることを知らない。現在では、情報システムなくしては、企業経営も市民生活も成立し得ない。今後の更なる情報システムの進展は、社会構造の大きな変革を引き起こし、新しい社会のイメージを構想する必要性をわれわれは求めている。本講義では、こうした情報システムの発展史を検討し、来るべき情報社会のあり方を考える一助とする。したがって、ここでは、教室での講義を中心に学び、特に実習を行う。
履修のアドバイス・前提科目等	【履修するとよい他の科目】ITエンジニアの3科目（プログラミング入門、コンピュータ科学A、コンピュータ科学B） 【アドバイス】社会科学系大学への編入、IT企業だけでなく一般企業への就職を希望する学生にも適した講義を行う。つまり、エンドユーザの立場でコンピュータに接することを想定した内容である。

授業展開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第1講	オリエンテーション	講義の進め方、講義概要、成績評価方法など	第9講	企業における情報システムの進展(4)	⑤個別型情報システム(SIS)
第2講	情報	情報の語源、異なる研究分野における情報の定義 ①情報理論 ②サイバネティクス ③情報経済学 ④組織論など	第10講	企業における情報システムの進展(5)	⑥ビジネス・プロセス・エンジニアリング(BPR) ⑦電子データ交換(EDI)・キャルス(CALS)
第3講	システム	システムの定義の例、システムの属性、システムの定義、システムの種類、マン・マシン・システム、ホメオスタシス	第11講	企業における情報システムの進展(6)	⑧企業間Eコマース(EC-B2B)
第4講	情報システムシステムズ・アプローチ	情報システムの構成、通信工学モデル、情報処理モデル システムズ思考の背景、システムズ・アプローチの捉え方	第12講	企業における情報システムの進展(7)	⑨企業・消費者間Eコマース(B2C)
第5講	企業システム	企業システムの見方 ①システムの種類による企業システムの説明 ②社会システムの下位システム ③伝統的専門システム ④組織機能システム ⑤環境・資源システム	第13講	企業における情報システムの進展(8)	⑨企業・消費者間Eコマース(B2C) ⑩政府・企業間Eコマース(G2B) 政府・消費者間Eコマース(G2C)
第6講	企業における情報システムの進展(1)	コンピュータの出現とICTの進展 ①経営情報システム(MIS)	第14講	情報化社会における企業と個人	ネットワーク社会からユビキタス社会へ、情報化社会における企業のあり方、情報化社会における個人の生き方
第7講	企業における情報システムの進展(2)	②意思決定支援システム(DSS) ③役員情報システム(EIS)	第15講	試験	
第8講	企業における情報システムの進展(3)	④オフィス・オートメーション(OA)		評価方法	(1) 出席&小テスト：40% (2) レポート：20% (3) 定期試験：40%
	備考 (関連する資格・試験等)	☆関連のある資格：情報処理技術者試験・ITパスポートおよび基本情報 ☆担当者メッセージ：上記試験を狙う学生は、『ITエンジニア』ユニットの全科目を履修するつもりでがんばってください。			
	使用する教科書(必ず購入してください)		参 考 文 献		
	特になし。 毎回、講義資料(パワーポイント・スライドコピー)を印刷配布。		石原秀男、魚田勝臣他著「コンピュータ概論」共立出版(1年次「情報処理」で使用した教科書と同じ)その他にも必要に応じて参考文献を紹介する。		